



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年7月29日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 利行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 本多 純二 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	72,027	5.1	7,235	△2.3	6,934	△11.7	4,271	△18.9
2019年3月期第1四半期	68,533	2.5	7,408	△6.9	7,851	0.5	5,265	1.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4,894百万円 (1233.3%) 2019年3月期第1四半期 367百万円 (△89.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	41.39	39.90
2019年3月期第1四半期	50.54	48.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	287,188	162,024	55.8	1,553.40
2019年3月期	284,842	160,690	55.7	1,538.96

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 160,281百万円 2019年3月期 158,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	31.00	—	31.00	62.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	31.00	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	292,000	1.1	30,000	4.0	29,500	2.5	20,200	△2.7	195.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	107,508,954株	2019年3月期	107,508,954株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	4,327,855株	2019年3月期	4,330,549株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	103,179,323株	2019年3月期1Q	104,170,522株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需は堅調であるものの、外需の下振れのため景気に足踏み感があります。鉱工業生産は一進一退であり、企業収益と設備投資は横ばい状態ですが、所得は堅調に回復し、個人消費は緩やかな回復基調にあります。海外に目を向けますと、中国経済は、減速傾向にあり、とりわけ製造業の生産活動に急ブレーキがかかっており、輸出についても米国の輸入関税引き上げ等により減少基調にあります。一方、欧州経済については、ドイツ製造業の悪化が長期化し、ドイツ輸出は減速が持続するものの、個人消費には底堅さが見られました。英国ではBrexitをめぐる不透明感は拭えず、在庫の積み増しが加速するものの、個人消費は底堅く推移しています。他方、米国においては、個人消費は減速するものの、企業部門は底堅さが持続しています。輸出は伸び悩んでいますが、企業景況感は底堅さを維持しています。このように世界経済は全体的に減速傾向にあり、シリコンサイクルの調整、中国での設備投資調整、貿易摩擦の広がりなど複数のマイナス要因が世界景気の押し下げに作用している状態にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では、販売、輸出、生産台数ともに前年を若干上回る推移を示しました。一方、海外におきましては、中国市場、米国市場及び欧州市場では、生産台数、販売台数ともに前年割れの状況となっています。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比5.1%増の720億2千7百万円となりました。

利益面では、多様化する製品への対応に伴うコスト面の増加等の影響により売上原価の増加が売上の増加を上回った結果、売上総利益が前年同期比で減少しました。販売費及び一般管理費は対前年で減少したものの、営業利益は前年同期比2.3%減の72億3千5百万円となりました。経常利益は為替差損の影響等により前年同期比11.7%減の69億3千4百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比18.9%減の42億7千1百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては自動車生産台数の増加に加えて、新型車への当社製品1台あたり搭載金額が伸びたことにより売上拡大に貢献、中国を始めアジアにおける前年度割れがあったものの、北米では前年を上回ったため、全体としては前年比で増収となりました。利益面では、材料費率の上昇や償却負担の増加等により収益性が悪化、製品の立上費用の増加も響いて、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比5.6%増の659億8千8百万円となり、セグメント利益につきましては、前年同期比4.2%減の77億9千1百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内においては百貨店での高級品の売上が牽引し、アジアにおいては、日本製マットレスに加え中国蘇州製マットレスが中国・アジアでのホテル及び小売市場で、概ね堅調に推移したことから、前期比で増収となりました。利益面では、昨年8月に本社事務所を移転、また10月にシモンズギャラリー東京を開設したことによる家賃増加の影響もあり、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のベッド及び家具事業売上高は前期比0.2%増の60億9百万円となりました。セグメント利益につきましては、前期比9.8%減の8億2千6百万円となりました。

今後に関しては、国内では卸・ホテル等、既往取引先様との協力関係の強化を行うとともに、「シモンズギャラリー東京」を活用し、より良い睡眠を提供する企業として発信してまいります。また、アジアでは中国小売り網の拡充と蘇州工場での増産に注力し、アジア全域でのブランドの高揚を図り、増収増益を目指します。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億4千6百万円増加して、2,871億8千8百万円となりました。増加要因としては、国内における工場建設に伴う支出等により、現金及び預金が66億7千5百万円減少した一方、建設仮勘定が42億7千6百万円増加したこと、売上の増加により受取手形及び売掛金が15億8千8百万円増加したこと、並びにIFRS第16号「リース」適用開始の影響等により有形固定資産のその他が46億5千1百万円増加したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億1千3百万円増加して、1,251億6千4百万円となりました。増加要因としては、転換社債型新株予約権付社債が105億1千2百万円、短期借入金が16億9千2百万円それぞれ減少したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が105億9百万円、IFRS

第16号「リース」適用開始の影響等により流動負債のその他が23億6千5百万円、固定負債のその他が25億8千万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億3千3百万円増加して、1,620億2千4百万円となりました。主として利益剰余金が10億6千8百万円増加したこと、及び円安により為替換算調整勘定が4億1千6百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,294	69,619
受取手形及び売掛金	48,401	49,989
電子記録債権	7,446	7,762
有価証券	595	853
商品及び製品	20,874	20,532
仕掛品	2,111	2,321
原材料及び貯蔵品	6,189	6,186
その他	8,718	8,506
貸倒引当金	△203	△213
流動資産合計	170,429	165,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,712	40,163
機械装置及び運搬具(純額)	22,982	23,194
工具、器具及び備品(純額)	5,202	5,372
金型(純額)	6,866	6,452
土地	16,843	16,810
リース資産(純額)	995	58
建設仮勘定	7,401	11,678
その他	—	4,651
有形固定資産合計	101,005	108,381
無形固定資産		
のれん	1,724	1,595
その他	1,667	1,565
無形固定資産合計	3,391	3,160
投資その他の資産		
投資有価証券	4,996	5,065
繰延税金資産	1,894	1,910
その他	3,311	3,299
貸倒引当金	△186	△187
投資その他の資産合計	10,015	10,087
固定資産合計	114,412	121,630
資産合計	284,842	287,188

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,522	18,615
1年内償還予定の社債	11,479	11,268
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	10,509
短期借入金	10,632	8,939
1年内返済予定の長期借入金	1,703	1,024
未払金	6,024	5,445
未払法人税等	3,775	3,204
賞与引当金	1,758	2,582
その他	11,967	14,333
流動負債合計	66,864	75,922
固定負債		
社債	20,629	20,419
転換社債型新株予約権付社債	10,512	—
長期借入金	15,836	16,155
繰延税金負債	4,449	4,150
退職給付に係る負債	3,743	3,818
その他	2,116	4,696
固定負債合計	57,286	49,241
負債合計	124,151	125,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	13,794	13,794
利益剰余金	151,864	152,932
自己株式	△10,677	△10,669
株主資本合計	162,271	163,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547	525
繰延ヘッジ損益	△9	△19
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	△2,427	△2,011
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,566
その他の包括利益累計額合計	△3,483	△3,065
非支配株主持分	1,903	1,742
純資産合計	160,690	162,024
負債純資産合計	284,842	287,188

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	68,533	72,027
売上原価	49,076	52,799
売上総利益	19,457	19,228
販売費及び一般管理費	12,048	11,992
営業利益	7,408	7,235
営業外収益		
受取利息	68	58
為替差益	463	—
その他	348	358
営業外収益合計	880	417
営業外費用		
支払利息	147	150
社債発行費	115	—
為替差損	—	370
その他	175	198
営業外費用合計	438	718
経常利益	7,851	6,934
特別利益		
固定資産売却益	43	20
特別利益合計	43	20
特別損失		
固定資産処分損	7	35
特別損失合計	7	35
税金等調整前四半期純利益	7,887	6,918
法人税等	2,426	2,478
四半期純利益	5,460	4,440
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,265	4,271
非支配株主に帰属する四半期純利益	195	169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△22
繰延ヘッジ損益	△107	△10
為替換算調整勘定	△5,024	452
退職給付に係る調整額	99	34
その他の包括利益合計	△5,093	454
四半期包括利益	367	4,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223	4,688
非支配株主に係る四半期包括利益	143	206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

IFRS第16号「リース」の適用

当連結会計年度より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を採用する北米子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しています。

当会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用权資産及びリース負債を認識しております。また、有形固定資産のリース資産(純額)に含めていた一部の資産についても使用权資産への振替を行っております。

当該基準を適用した結果、当第1四半期連結会計期間末において、リース資産(純額)が937百万円減少し、有形固定資産のその他が4,651百万円増加しています。また、流動負債のその他が1,280百万円、固定負債のその他が2,664百万円それぞれ増加しています。

なお、当該基準の適用による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,508	5,996	68,504	28	68,533	-	68,533
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	-	13	59	73	△73	-
計	62,522	5,996	68,518	87	68,606	△73	68,533
セグメント利益又は損失(△)	8,132	916	9,049	9	9,058	△1,649	7,408

- (注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△1,649百万円は、全社費用△1,664百万円及びセグメント間取引消去14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

〔報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報〕

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注3)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,988	6,009	71,997	29	72,027	-	72,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	-	18	76	95	△95	-
計	66,007	6,009	72,016	106	72,123	△95	72,027
セグメント利益又は損失(△)	7,791	826	8,618	25	8,644	△1,408	7,235

- (注) 1. その他には、売掛債権の買取業務及び各種サービス業務の受託事業を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額△1,408百万円は、全社費用△1,412百万円及びセグメント間取引消去3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。